

えつあんこばん



お尻の経験人数は3桁だし、乳首も舐められ過ぎてちよつと黒っぽいけど
おま○こだけは「あの人」の為に未使用なのよ♡ ああんツ!!今日はア
ムストロングさんね? しつかり奥までツツこんでえろっ!!

あひいー♡

ああうっ、お、お尻壊れちゃろっ!!



ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

藤村「ごめんね美墨さん、高校でサッカー部に入ったら、俺、先輩にやられたりヤったりしてさ。それ以来、アナル専門になったんだ。でも美墨さんのアナルって、今までの誰より具合がイイよっ!!ウツ!そろそろまた射精すよ?」



くっ♡
(処女なのに先にオシリでセックスを経験するなんてありえない!!)

なぎぞ「はい♡ふ、藤P先輩、アタシのオシリの穴を気にいっ

てもらえて嬉しいですっ!!あひっ♡こ、これからは、い

つでも私のオシリの穴を使ってくださいっ!!

でも、出来れば、アソコにも入れてくださいっ……「ニムニム」

俺はやっぱり東城が好きだ。結局、西野をまた泣かすことになってしまったが、ふらついていた俺の気持ちは、東城の涙で完全に東城のことが考えられなくなってしまった。東城と俺は夢に向かつてこれからずっとずっと、一緒に歩いていく。そう、何があっても…

PS 東城とは毎日セックスしている。東城は俺のことを想い、1人工ツチを時々していたぞうだ。それを知った俺はとても興奮したw



あああ…
真中くん、私、ずっと、ずっとこうして
もらいたかったの… はひっ!!私の中に
あなたの精子が…あああ 私、本当に幸せ♡

なる「景太郎、元気〜？ この前の3Pビデオは見てくれた？ 今日
初アナルファックの記念にまたビデオを撮ったから送ってあげる
ね もうちょっとイタイものかと思っただけど、以前からオナニー
の時やセックスの時、みんなが指でイジってたから、意外とすん



なり入ったのよ。不思議な感触で入れられただけで、ちよつとイ
つちやった♥そつそつ相手はなんと、予備校で一緒だった灰谷君
よ？景太郎との結婚式の時から、イヤラシイことを考えていたん
だつて。じゃ、景太郎、私の浮気ビデオたっぶり楽しんでね♥

まこと 「美樹はスコイのらー、先生の極太チンコを丸飲みしてるのらー！」

美樹 「あひーっ♥ぬーべーの極太チンポツ、1度味わったらもう他のチンポじゃ満足出来ないよーっ!!」

ぬーべー「美樹、これに懲りて、もう援交はやめるんだぞ?」

おま○こお、おま○こツ

イクーッ!! あはー♥

ズ
ズ
ズ

本気汁がタラタラ
出てるのら!!

わなわな

ぐりんっ!

ズ
ズ
ズ

郷子は、ぬーべー
に近づけないよう
にじみっ...

美樹 「あん、それはいいけど、ぬーべーこの前、中だしてでしよー。あは♥

ぬーべー「えっ? ま、まさかお前...」

美樹 「ぞ、来・な・い・の・生理が!! ぬーべーったら先生のくせに○学生を孕

ませたっついでよなわー。どうするっついでよなわー♥



阿重霞「あひっ!!はひいんっ♥天地様、太いですっ!!オマ○コの中、ゴリゴリい、あはっ!オマ○コっ!!オマ○コいいのお♥」

天地「あつ阿重霞さんッ!声が大きすぎます!!み、みんなが起きちゃいますよっ?!ああっ!!そんなに締め付けると射精だちやいますっ!!」

颯呼さん、砂沙美ッ 聞きなさいっ!!

ホラホラ、天地様の逞しい肉棒が私の

大切な子宮の入口に当たる音を♥



阿重霞「いいえ、天地様、颯呼さんにも美星さん、砂沙美にさえも、誰が

あん♥て、天地様の喜が今から知らしめておきたいのですっ!!」

天地「ええっ!!さ、砂沙美ちゃんにもですか?」

阿重霞「あ、あん そっ、そっです。近い将来、必ず砂沙美も天地様を好

きに...そんなことより、お射精だしてくださいませ!!天地様♥」

蓮 「ねえ、佐倉綾乃さん、お願いがあるんだけどお？」

綾乃 「あっ！あっ！！どうしようもなくなっていた父の仕事を手助けして戴いた蓮様の為なら、何でも致しますう。あうっ！な、なんなりとお申し付けくださいませ♡」



蓮 「んー、オレ、どうしてもテル先生を四瑛会に欲しいんだよね。何とかならないかなあ？」

綾乃 「わ、わかりました。私のすべてを使って、あはん♡で、テル先生を連れて来ます!!」

景太郎「元気なようだね、成瀬川、あ、なるだった（笑）。灰谷にアナ
ルを奪ってもらったんだね。オレもこっちで、ニヤモちゃんと
毎日セックスしてるよ。こっちの食べ物がいいのか水がいい
のか分からないけど、チ○ポが急にでかくなっちゃってさ。同
封した映像の通り、太いわ、長さも50センチは軽く超えるし



アヒイ♥ケータロ
フトスキツ！フトスキツ！！
オマ○コ、コワレルワ♥

うーん
やっぱりニヤモちゃんの
子宮の感触は最高だよー

射精も1日2桁は軽いよ。」

ニヤモ「ケータロ、ナルノオマ○ンコガバガバ、ガバガバ」

景太郎「こらこらニヤモちゃん、ダメだよ。成瀬川はウルマンかも知れ

ないけど、灰谷とか普通の日本人のチ○ポで満足出来るんだから。

それじゃ、成瀬川じゃなかった、なる、元気だね（笑）」

八雲「遅かったじゃないか、アシスタントのハリマ君。」

播磨「遅れてスイマセンっ先生!!」

八雲「じゃ、じゃあ早速だがベタを塗ってくれたまえ。」

先生、ホワイトがけ
終わりましたっ!!

あ…もしかしたら
カケ忘れがあるかも
知れないから
もう一回、しっかりカケて
くれたまえ…

赤ちゃんは、
女の子がイイな…

播磨「終わりましたっ先生!!次は何をやればいいんですか?」

八雲「じゃ、じゃあ次はホワイトを。」

播磨「先生、ホワイトはどこに?」

八雲「決まってるじゃないか、私の、オマン…」

